

## は じ め に

ICTの急速な発展、とりわけ生成AIの発展により現代社会の将来を予測することがますます困難な時代となるとともに、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0」を迎えています。

そのなかで、すべての子どもたちの可能性を最大限に伸ばし「一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会」の実現が必要とされています。また、2025年に開催される大阪・関西万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、未来社会の共創や人類共通の課題解決に向け、先端技術などの世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場と位置付けています。そのような社会を生きていくためには、必要な情報を見極めて自分の考えをまとめたり、個人だけでなく、他者と協働しながら新しいことを生み出したりしていく力が必要です。

令和5年度において、交野市教育センターが受けた相談総件数は2,319件で、学校やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と緊密に連携を図り、課題の解決に当たってきました。今後も引き続き、児童・生徒、保護者、教職員等からの教育に関わる様々な相談に対して、専門的な知識と経験を持って対応していきます。また、いじめや不登校等の解決は急務であることから、各学校における教育相談体制の一層の拡充、関係機関との連携を支援し、教育センターでの相談業務をはじめとした生徒指導体制をより充実させていきます。各学校では組織的な生徒指導体制の構築と多職種連携を進め、児童・生徒が必要とする支援により早くつなぎ、いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応に努めていきます。

交野市では、小・中学校9年間の系統性のある小中一貫教育を進めるためにさまざまな取り組みを行っています。令和5年度には交野市小中一貫教育研修として、「学びを深める授業づくり」をテーマに全教職員を対象に研修を実施し、子どもたちの学びが深まる授業づくりの在り方や教材との向き合い方、「主体的・対話的で深い学び」の実現のためにより効果的なICTの活用について全教職員で共有しました。今後も、交野市の小中一貫教育をより充実させるため、めざす子ども像の実現のために育みたい具体的な資質・能力を「4-3-2」の学年の区切りごとに設定し、取り組みを実践するとともに研究を深めていきます。

教育センターでは、教職員の専門的知識・技能と実践的指導力の向上を図るため、キャリアステージに応じた研修の実施、校内研修を充実させるための支援等を行うとともに、経験の浅い教職員を対象としたフレッシュサポート事業や5年めの教職員を対象とした授業充実支援事業等を通して、「かたのスタディ」を活用した指導・助言を行い、教職員の指導力・資質の向上をめざした取り組みを行っています。

このように、教職員の指導力・資質向上や教育相談をはじめとする生徒指導体制の充実等、教育センターに求められる役割はますます大きくなっています。昨年度からは適応指導教室を、児童・生徒支援ルーム「グループ」に名称を変更し、子どもに寄り添い、学習活動や交流活動を通じて、社会的自立をめざす支援をしています。昨年度は、教科学習だけでなく、茶道体験や理科の実験体験、ALTによる英語の出前授業や交野市給食センターでの食育学習等を実施しました。今後も児童・生徒の社会的自立をめざし取り組んでいくとともに研修等の内容や相談機能をはじめとする生徒指導体制やをより一層充実させ、皆様方のご協力を得ながら、より信頼される教育センターとして、交野市の教育の発展に寄与できるように努めてまいります。

令和6年4月